

平成30年7月豪雨に対する災害支援活動

2018年（平成30年）6月28日から7月8日にかけて、西日本を中心に北海道や中部地方など全国的に広い範囲で記録された台風7号および梅雨前線等の影響による集中豪雨により、愛媛県、岡山県、広島県の被害状況は下記のように甚大であった。（平成30年7月まとめ）

- ・死者 227 人
- ・行方不明者 10 人
- ・負傷者 421 人（重傷 71 人、軽傷 347 人、程度不明 3 人）
- ・住家の全壊 6,296 棟、半壊 1万508 棟、
一部破損 4,379 棟、床上浸水 8,937 棟、床下浸水 2万545 棟
- ・公共建物の被害 11 棟、その他の非住家被害 193 棟

災害医療 ACT 研究所は日本財団の支援を受け、7月9日～25日の間、別紙1のごとく3県15市町の断水や停電により衛生環境の悪化した避難所、医療施設、介護施設に対し屋内設置型ラップ式トイレ（ラップポン®）を445台設置した。また7月13日～25日の間、広島県医療救護班調整本部運営支援として、県庁におけるヘルスクラスターミーティング（写真1）の座長、医療調整業務などを行った。

（写真1）

（設置後調査日程を追加）



別紙 1

県	市町	設置施設数	設置台数
広島県	坂町	5	38
	海田町	1	1
	竹原市	2	25
	三原市	13	46
	尾道市	9	45
	江田島市	10	24
	呉市	29	123
	東広島市	1	1
	広島市	1	18
岡山県	高梁市	1	6
	倉敷市	15	31
愛媛県	宇和島市	11	52
	西予市	3	16
	大洲市	4	18
	松山市	1	1
合計		106	445